

第18回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成28年11月18日（金） 15:00～16:30

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

片岡部会長代理、青木委員、折木委員、久保委員、山川委員

(2) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、松井参事官、行松参事官、高見参事官、佐藤参事官、守山参事官

(3) 関係省庁等

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター 瓜生参事官
内閣官房国家安全保障局 萬波参事官

4. 議事要旨

(1) 重要インフラの情報セキュリティに係る行動計画について

重要インフラの情報セキュリティに係る行動計画について、資料1に基づき、内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンターより説明を行った。当該説明に対して、委員から以下の質問があった。（以下、○質問等、●関係省庁の回答）

○情報セキュリティを専門としている立場から宇宙施策を見たときに、宇宙分野ではどういった取組みを進めるべきか。

●宇宙の先端技術を持つところは注意しなければいけないこと、またGPS情報は攻撃されると危険である旨回答があった。

○重要インフラ第3次行動計画の5つの柱の中ではどこが最も重要と位置付けているか。

●情報共有体制を強化することが最も重要であり、その後に、評価する体制を強化することが大事である。

(2) 宇宙システム全体の抗たん性強化に関する基本的考え方（素案）について

宇宙システム全体の抗たん性強化に関する基本的考え方（素案）について、資料2に基づき、事務局より説明を行った。当該説明に対して、委員から以下の質問があった。（以下、○質問等、●関係省庁の回答）

○今後の取組みに係る話として、現段階で、抗たん性強化の優先順位が高く、早急に進めるべき分野などが本文書に示されるのか。

●今後の取組みについては、これまでの議論を踏まえてこれから検討を進めていく。

○NISCが情報セキュリティ全体を評価しているように、誰が宇宙のオペレーションの中で、抗たん性強化の観点から全体を評価していくのか。

●まずは各機能区分ごとにそれぞれのシステムを強化することになり、その後全体を取りまとめるような組織についても検討が必要であろうと考える。

○国際規範作りといった活動も、抗たん性強化の観点では重要である。

(2) 宇宙基本計画工程表の改訂について

宇宙基本計画工程表の改訂について、事務局より説明を行った。当該説明に対して、委員から以下の質問があった。

○本日 NISC からも連携が必要との説明もあったことから、NISC との連携も大事ではないかと考える。

以上